

第5回 URA 研究戦略マネジメント勉強会

キャリア初期研究者を 支える大学の研究環境改革 ～若手研究者が挑戦し続けられる大学とは～



2026年9月4日(金)15:00-17:00

世界の主要大学では、大学全体の研究力や国際競争力を支える基盤として、研究コミュニティ形成やメンタリング、能力開発などを通じて、キャリア初期研究者が挑戦し続けられる環境づくりを進めている。本勉強会では、海外の事例を踏まえ、大学はどのような研究環境や研究者支援体制を設計すべきか、また、その中で URA をはじめとする研究マネジメント人材が果たすべき役割について議論したい。

プログラム

開会挨拶 若尾真治(早稲田大学 理事)

趣旨説明 丸山浩平(早稲田大学 研究戦略センター 教授)

講演①「研究大学における博士人材を取り巻く現状」

吉岡(小林) 徹(一橋大学 イノベーション研究センター 准教授)

講演②「早稲田はばたく次世代研究者支援プログラムの取組

ーキャリア初期研究者が挑戦し続けられる環境を目指してー」

井上 素子(早稲田大学 研究戦略センター 准教授)

質疑応答・パネルディスカッション

閉会挨拶 桑名正隆(日本医科大学 副学長(研究・産学連携担当)/学校法人
日本医科大学 研究統括センター長)

参加登録



<https://forms.cloud.microsoft/r/nyc3RXbThW>

締切：8月28日

対象

どなたでもご参加いただけます(※要事前登録)

全国の研究機関に所属する研究、マネジメント人材(URA, 技術職員, 事務職員等)、執行部、研究者、学生・大学院生、等を主な対象としています

講師

吉岡(小林) 徹 先生 (一橋大学 イノベーション研究センター 准教授)

2005年大阪大学法学部卒業、2007年同法学研究科修了。同年より2012年まで株式会社三菱総合研究所にて科学技術政策の調査・研究を担当。2015年東京大学大学院工学系研究科技術経営戦略学専攻修了。同年一橋大学イノベーション研究センター特任講師、2016年から2019年まで東京大学大学院工学系研究科特任助教。2019年より現職。



場所

早稲田大学 26号館地下1階 多目的講義室+オンライン

新宿区早稲田鶴巻町516 (東京メトロ早稲田駅徒歩5分)

【URA研究戦略マネジメント勉強会とは?】日本医科大学と早稲田大学の協定にもとづき2022年に発足。大学が多様なステークホルダーを巻き込んで社会変革の原動力として成長することを目指し、URAなど研究マネジメント人材自らが戦略的に仕掛けるマインドを磨くための勉強会です。

主 催:早稲田大学研究戦略センター/日本医科大学

世話人:丸山浩平、井上素子、松永康、一之瀬貴(早稲田大学研究戦略センター)

坂井敦、松村智裕、國村有弓(学校法人日本医科大学研究統括センター) /日本医科大学事務局研究推進部

問い合わせ:早稲田大学研究戦略センター kensen-event@list.waseda.jp